

## 第4次男女共同参画行動計画ウィザス・プラン 意見の要旨及び市の考え方

1 募集期間:平成 29 年 12 月 17 日(日)～平成 30 年 1 月 26 日(金)

提出件数:3 人 3 件

2 意見の趣旨及び市の考え方

取扱区分:A(意見を反映)0 件, B(実施にあたり考慮)0 件, C(原案に考慮済み)0 件, D(説明・回答)3 件

No	該当箇所	頁	市民からの意見(概要)	取扱区分	市の考え方
1	【第2次女性活躍推進計画】全ての女性の活躍を推進	P32	赤ちゃんは胎児の時から母親の声を聞き分け、その感情に反応すると言われるように驚くべき学習能力を持っており、子育ては非常に大切な「20年事業」である。「放任主義」を勧めたスブック博士の育児書が間違っていたことは明らかになっている。お金を得ることとどちらが大事かは明らかであり、あとになって子育てに失敗したでは手遅れである。本当に働く必要がある人には子連れでも働ける仕事を紹介するのもいいが、乳幼児を預けて働くような女性活躍社会の推進は深慮すべきことであり、母親が働くことで得るものもあるが失うものも大きいことを比較考量して決めるように勧めることも大切だと思う。	D	本計画では、女性の活躍を仕事だけとは捉えておらず、地域活動・家事・育児なども含めて認識しており、多様な個人の希望する生き方を支援する取り組みを進めてまいります。 また、子育てについては、母親のみならず、父親を含め社会全体が関わることが重要との視点から、本市では主に「子ども・子育て支援事業計画」において取り組んでおります。
2	【第2次女性活躍推進計画】仕事と生活の両立	P39	市民意識調査の「女性が働き続けるために必要なこと」によると「保育所や学童保育など子どもを預けられる環境の整備」(80.4%)となっている。住民が行政に願うのは、安心できる質の高い保育所、幼稚園、学童保育の環境の整備である。『市民は、子育てや介護の問題に対し、傍観者となることなく、自分自身の問題として考え、地域で育て、守り、大切』などと市民の心構えを書くのではなく、「市が何をやるか」ではないか。 朝日ヶ丘幼稚園と新浜保育所を廃園し子育てしにくい環境にしている「幼稚園保育所統廃合計画」を見直し、歩いて通える質の高い公立幼稚園の3歳児保育実現の方向性を示してほしい。	D	男女共同参画社会の実現には、市民や事業者等の協働が不可欠であるため、条例に倣い、市民の責務についても計画に記載しております。 なお、昨年2月に公表しました「市立幼稚園・保育所のあり方」につきましては、公表後、説明会の実施や、広報臨時号の発行等を行い、その際いただいた様々なご意見や、複数の団体からの申入れなどを踏まえ、「あり方」をより良いものとするため、7月に一部変更を行いました。今後も丁寧な説明を行い、具体的な取組を進め、限りある資源を有効活用しながら、認定こども園を整備することで、永続的かつ効率的に待機児童の解消と3歳児の教育ニーズに対応してまいります。
3	【第2次女性活躍推進計画】仕事と生活の両立	P39	この計画は「あらゆる人々が共に協力して男女共同参画社会」をつくりあげていこうとするものだと思うが、市民意識調査の「女性が職業をもつことについて」は「よい」が約70%、「女性が働き続けるために必要なこと」については「保育所や学童保育などの子どもを預けられる環境の整備」が最も高く約80%の回答である。 しかしながら、芦屋市では、子どもを預けて働く母親の不安をつのる「幼稚園保育所統廃合計画」を強引に進めており、矛盾している。	D	昨年2月に公表しました「市立幼稚園・保育所のあり方」につきましては、公表後、説明会の実施や、広報臨時号の発行等を行い、その際いただいた様々なご意見や、複数の団体からの申入れなどを踏まえ、「あり方」をより良いものとするため、7月に一部変更を行いました。今後も丁寧な説明を行い、具体的な取組を進め、限りある資源を有効活用しながら、認定こども園を整備することで、永続的かつ効率的に待機児童の解消と3歳児の教育ニーズに対応してまいります。